

ポンプを使用した燃料入替え

非常用発電機の不具合防止



北海道の某企業における屋上タンクの燃料入替え（2023年8月）
〔※作業を行うにあたって消防申請をしております。〕

災害時に非常用発電機が途中で動かなくなる原因の一つに燃料劣化があります。品質劣化した燃料は未燃焼や燃焼効率の悪化を招き、劣化燃料の使用を続けると燃料噴射ノズルが詰まるなど稼働途中で不具合が起こる可能性があります。現在、多くの企業様で備蓄燃料の劣化が問題となっております。万が一に備え、燃料劣化対策は重要なことです。当社では、燃料劣化対策として燃料入替えを行っております。まずサンプルを採取し専門機関で分析検査を行い、その結果、入替えが必要な品質の場合は古い燃料を抜き取り、新油を給油致します。ポンプを使用し、屋上タンクや小出し槽、地下タンクなどで作業を行っております。**※劣化燃料の状態によっては買取・リサイクルさせていただきます。**

備蓄タンク内洗浄

タンク底面の沈殿物を完全に除去



洗浄前



洗浄中



洗浄後

燃料入替えでは、古い燃料を抜き取った後にタンク内の洗浄を行います。燃料タンク内は時間の経過と共に、酸化物や錆・水分・埃などが溜まり劣化を促進させます。タンク内洗浄は沈殿物を除去することによって「新しく入れた油の劣化」からも守ります。企業様から「タンク内が見違えるようにきれいになった」「やってよかった」と喜ばれました。日本BCPは、今後も『命をつなぐサービス』を提供していきます。

事業継続のご提案_燃料リフレッシュ(ろ過)

燃料劣化対策は入替以外にも、専用ろ過機によるリフレッシュ作業もございます。タンク底部にたまったスラッジ（酸化物・錆・ゴミ等）や水分などを除去し、きれいになった燃料を戻します。非常用発電機の始動に影響することなく、入替えに比べるとコストも抑えられるので、非常にニーズが高まっております。また屋上や車両が入れない場所でも対応可能ですので、お気軽にご相談ください。



お問い合わせはこちら

